

OUR **SPORTS** 東京

新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2
大住ビル 401

TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315

E-mail njsf@tokyo.email.ne.jp

12月号 2009年12月9日

発行責任者：都連盟理事長 萩原 純一

初心者も、ベテランも、一緒に楽しめる活動だから… 仲間が増えて、楽しい！！ **ポポロAC** (ポポロ・アスレチック・クラブ)

最近、ランニングの大会は参加者数が大きく伸び、愛好者が増えています。世間ではランニングブームといわれるこの時勢を活かして、仲間を増やしながら活動しているクラブや大会を紹介します。

東京ランニングクラブに加盟する1973年創立のポポロAC（ポポロ・アスレチック・クラブ）は毎週火曜日に代々木公園競技場（織田フィールド）で練習会を行い、ロードや陸上競技大会等に参加しています。その他、合宿や休日の練習会、練習後の懇親会等、多様な活動をしています。その元気な活動の中身を役員の小林一美さんに聞きました。



8月に行われた妙高高原での合宿。今年は54名の参加で盛り上がりました

☆：ポポロACは数年前には80名ほどだったそうですが、今では100名を超えるメンバーがいるそうですね。

小林：ええ、現在では20～70歳代まで幅広い世代の仲間がいます。練習会に出席する人も1.5倍ぐらいになりました。会員が増えたきっかけは、最近のマラソンブームというものもありますが、2004年から始めたホームページのおかげでもあると思います。当時、いつも同じ顔合わせで、マンネリ化を解決したいと思って仲間を増やしたいねと、議論をしていました。

ランニングを一人で継続することは大変だから、きっと仲間を求めている人はいる。そういう多くの人に知ってもらうために、担当の係をおいてホームページを開設しました。

☆：新しい仲間が増えて、みなさん喜んでしょね

小林：そうですね。私たちは、チームを組んで駅伝に出たり、合宿や望年会（ポポロでは「忘」ではない）なども積極的に行い、仲間を大事にする事を心掛けていますから。しかし単純にはいかないこともありました。クラブの中には様々なレベルの人達がそれぞれの目標にあわせ活動しています。練習のシステムも今まで工夫して作ってきたんですが、そのやり方に新人さん達全員が必ずしもフィットするわけではありません。

☆新人の方の要求や思いはどのようにあつめたのですか？

小林：新人さんには定着してもらうた

め、色々として行錯誤しました。うまくいかどうか不安もありました。これまで、入会してもしばらくして練習会に来なくなり、退会してしまう人もいました。ですから、新人さんたちの声をよく聞こうと心がけました。ホームページ内の掲示板を利用し、いつでも要望や質問を出してもらえるようにしました。

そうすると、始めたばかりで、運動経験がほとんどない人にとっては最初は周りとのレベルの差を感じて居づらくなるという事がわかってきました。そこで今まで練習の時に、レベルごとに3つに分けていたグループを6つに増やしました。その結果、走り始めたばかりの人にもきめ細かく対応できるようになりました。



今年の10月25日の河原駅伝では女子の部で優勝を飾りました！

☆：新人の方たちはその後はどのように活動されていますか？

小林：クラブに愛着を感じてくれるようで、練習会の参加率も高く、クラブの推奨レースにも仲間と一緒に積極的に参加しています。最初は専門知識もなく、ペース配分もわからなかった新人さんたちが、走る魅力を実感してきているようです。中にはレースで上位入賞し、表彰される方もいて、そ



織田フィールドでの真剣な練習風景

**新人さんたちの生の声
このクラブに入ってよかった！**

富沢 正幸さん

とても活動が多様であり、魅力的ですが、中心の人達が全部を担うのではなく、みんなで分担するんです。だから、みんなが主役のように感じられ、クラブを盛り上げるために自分も頑張ろうという気持ちになれます。

内田 久美子さん

最初は応援で参加していましたが、みんなから「一緒に走ろう」と誘われました。今までランニングの経験はなかったのですが、家族みたいな暖かさに惹かれ、練習会に参加し続けたいいつの間にか速く走れるようになりました。一緒にいると幸せな気分になれるところです。

安藤 正法さん

3年前から一人でランニングをしていたのですが、今年からポポロで仲間と一緒に走りだしました。プロの方に手とり足とり教えてもらうような、お客さん扱いはせず、なんでも言える雰囲気がいいですね。また、会費が他よりもうんと安いのも助かります。

玉置 千春さん

陸上経験がない私にとっては、立派なグラウンドで練習することに初めは敷居の高さを感じていました。それでも練習すると、どんどん速く走れるようになるし、そのことを一緒に喜んでくれる仲間の優しさのおかげでとても楽しいランニングライフを送っています。

のことを嬉しそうに報告してくれませす。その嬉しさを一緒に練習している仲間が共有し、とてもいい関係が築けているようです。

☆：仲間が増えたことでクラブ活動全体を通して変化した事はありますか？

小林：やはり全体的に活気が増したと感じます。長く活動されてきた方たちにも、新人さんの成長がいい刺激になっています。また、初心者の方たちのグループリーダーの役割を買って出て積極的に新人さんたちの成長に協力しています。そうした状況で今まで以上に連帯感を感じるようになりました。

そして、新人さんの中からもクラブ運営や、行事の準備に関わる方が出てきています。夏の合宿にも50人を超す人数が集まりたいへん賑やかに楽しく行っています。駅伝などにも多くのチーム数で参加できるようになり、それに備えてより団結して練習に励む姿が多くみられるようになりました。また、新人さんの新たな要求にこたえるには努力も必要ですが、その為の試行錯誤自体もクラブの成長につながっています。そして、新人さんがまた新たに自分の職場や地域の仲間を誘ってくる事も増えて、ポポロ AC では今とてもいい循環ができています。



打ち上げではみんなで楽しく盛り上がります！

取材を終えて…

3月の都連盟総会や本紙の5月号などで組織拡大について、取り上げてきました。みなさんの周りにも様々な要求を持つスポーツ愛好者の方々がいるのではないのでしょうか？彼らの要求を捉えてクラブに迎え入れれば、さらに大きな要求を実現する事が出来るのではないのでしょうか。ポポロ AC の活動をヒントに皆さんも仲間を増やすことにチャレンジしてみませんか？（編集部）

参加者急増!! 月例マラソン

月例マラソンとは北区と多摩地区で、毎月一度行われているロードレース大会です。多摩地区(多摩川ロードレース)担当の森良太さんに実態をお聞きしました。

森さん：多摩川ロードレースでは、数年前まで多くて30人だった参加者が、最近では100人を超えることも珍しくなくなりました。参加者の特徴として「家族や仲間と一緒に来る、若者が増えた、継続的に参加する」事が挙げられます。受付の所属の欄に、「多摩川ロードレース会員」と書いた人もいて、このレースの一員という意識を持ってきているんだと嬉しく思います。定期的に仲間と走れる場がほしいという要求を持っている人が確実に増えてきています。それに伴いスポーツ連盟に求められる質・量も増してきています。運営の担い手を育て、特に若い世代に引き継いでいくことを心がけ、現場の全体の指揮を任せるようにしています。ぜひ、裾野を広げて参加者の中から運営にも関わる仲間を迎えたいです。

オリンピック招致でますます後退した東京都のスポーツ振興行政！

東京都は「東京のスポーツ事情」の認識をあらためて！

公共スポーツ施設は足りている！？

東京都が行っている調査によると、都内の公共スポーツ施設は約 2000 施設あります。さらにその他に民間のスポーツ施設もあり、東京において公共スポーツ施設が不足しているという認識は、東京都としては持っていません。

これは10月29日に行われた「都民生活要求大行動」において、公共スポーツ施設の抜本的な増設を求めた東京都連盟の要求に関する東京都の回答です。あまりにも実態とかけ離れた東京都の答弁に、会場につめかけた他の分野の団体参加者からもため息が漏れました。

体育館、プール、野球場、サッカー場、陸上競技場など、多くの都民がスポーツをするために必要になるのが公共スポーツ施設です。実際に、連盟の組織やチーム・愛好者にとって、競技大会の開催や日常の練習場所の確保が困難な状況となっています。

また、地域の公共スポーツ施設の実態も深刻です。杉並区で行われた対区交渉（12月3日）では、区の課長から「どれだけの大きさの施設を作ることができるかは予算次第。少しでも大きな競技スペースを確保するために予算面で苦勞している」「総合体育館をつくってほしいという要望はたくさんいただいているが、杉並区は狭くてとても場所がない」など施設整備に苦勞している様子が話されました。

人口が極度に密集している東京都においては、広いスペースが必要となる体育施設を整備するためには、予算の配分はもちろん、計画的に整備をしていく必要があることは当然です。そのために、いまどのようなスポーツ要求があるのかをよくつかみ、これを基礎に各自治体とも連携して公共スポーツ施設を整備する計画を立てることが東京都の役割です。

ところが、東京都においては、都民のスポーツ要求には耳を傾けず、深刻な実態には目を向けないという状況で、これはオリンピック招致立候補以降にますますひどくなっています。

東京都の役目は国際大会？

東京都は、オリンピック招致を大きく位置づけた「東京都スポーツ振興基本計画（昨年7月）」において、公共スポーツ施設を「全都・広域施設」と「身近な施設」の2種類に定義しています。そして「全都・広域施設」の整備が都の

役割であるとし、「身近な施設」については区市町村の責任であるとしています。しかし、実態はそのどちらも足りていないという状況です。

東京都の見解（都連盟の要求に対する回答より）
都のスポーツ施設整備については、「全都・広域施設」として、区市町村を越えるスポーツ大会や交流の場、また、国際大会を開催できる広域的施設の機能を重視することとしている。その他の日常的なスポーツ活動の場となる「身近な施設」については、設置者の判断と責任において整備すべきと考えている。

「都内の公共スポーツ施設は約 2000 あり不足していない」と言うのであれば、都内各自治体の施設についても老朽化対策など都が支援をするべきですが、この点についても都は「設置者の判断と責任において」と冷たい姿勢を示しています。

抜本的に公共スポーツ施設を充実させるためには、まず東京都の実態とかけ離れた現状認識をあらためさせ、冷たい役割分担論ではなく、全都の自治体と連携したスポーツ振興施策を展開させることが重要です。

都がみずからの役割としている「全都・広域施設」ですら、施設整備の遅れは深刻となっています。1995年に建設が決定された「武蔵の森総合スポーツ施設」は、石原都政が始った1999年に「財政難」を理由に計画が凍結されました。昨年から東京国体（2013年）の準備としてようやく計画が再開（一部修正の上）しましたが、都民が切望する体育館・プールの完成は2016年となっています。

そして、それ以降の施設整備については、まだ何も計画がありません。



計画凍結のまま放置されていた「武蔵野の森」スポーツ施設建設予定地

東京都連盟 NEWS

スキー～シーズン直前恒例の駅伝 今年は新コースで快走！

11月8日(日)に、東京スキー協会の第17回クラブ交流平和駅伝が、開催されました。11月とは言え日差しが覗くと暑いぐらいのさわやかな天候でした。

今年は、新コース狭山公園多摩湖堤防を含む1週2.5kmの周回コース。高低差20m。登りの後は多摩湖を右に見ながらの広い堤防を走り、そのまま長い下りに。堤防を走るランナーをスタート地点でも声援を送れるなかなか良いコースだと思います。ランナーの感想を聞くと、「アップダウンはきつかったが堤防のコースは気持ち良い。下からの声援も励みになった。」と概ね良好な感想でした。残念なことに参加ランナーが26人と昨年の4割減と少なく、大会前には今年は盛り上がり欠けるのでは？との心配の声もありました。クラブのエースが体調不良、マラソン大会出場で欠場、エース不在でチーム作りが出来なかった等明確な理由があり、尻つぼみに参加者減が続く心配はしていません。きちんとしたコース設定、正確なタイム計測を目指し大会を続けていくことが、大切だと思います。

(東京都勤労者スキー協議会・石黒 健)



第2走者へとバトンタッチ

東京 RC ～憧れの国立競技場で熱戦 を展開！大会記録も3つ生まれる

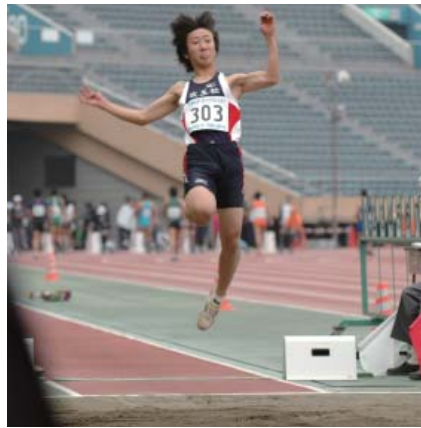
10月24日に国立競技場にて、850人を超える参加者で、第46回東京スポーツ祭典陸上競技大会が行われました。

「憧れの国立競技場を走れる！」と、記録への挑戦に挑む出場者の熱気に溢れる大会となりました。東京陸協公認の本大会であり、跳躍、投擲種目もあるので、練習の成果を公式記録として残すチャンスとあって会場には緊張感が漂います。

午後から雨が降り出すあいにくのコンディションの中でしたが、男子5000メートルに久々に14分台の好タイムが聞かれたほか、3種目に大会記録が生まれました。(編集委員・渡辺)

大会記録

- ・ 壮年男子 100メートル 11秒46
宮本義久 (THAMHA)
- ・ 男子 3段跳び 15メートル3センチ 鳥越陽介 (エヌアイオー)
- ・ 女子 4×100メートルリレー 48秒97 (アンビバレンス)



跳躍、投擲など、様々な種目が行われました

水泳～第30回全国兼第25回東京 年令別水泳大会が開催される

11月3日、東京辰巳国際水泳場で、個人1493種目、リレー298チームの参加で開催されました。

毎年、参加申込者にお断りをせざるを得ないほど人気の高い大会です。今大会も大会新記録が非常にたくさん生まれ、失格は5個に満たなかったと思います。競技レベルが向上していることを実感させる大会でした。

(東京水泳協・宮久保)

当日、大会役員として選手受付係を担当されました森本せつさんから、感想文がとどきました。

「ここ2年ほど大会の選手受付の仕事をしてきました。選手受付は、始まってから2時間ぐらいい目の回るような忙しさが続きますが、それが過ぎるとお昼ごろまで、ちょっとほっとする時間があります。その時、受付場所から練習コースで泳いでいる参加選手の姿を見るのが私の楽しみの一つです。今大会は参加者が今までになく多かつたせいか、練習コースも混雑していました。また、大会終了間際まで(後も)名残を惜しむように泳いでいる人たちがいました。この人たちは、本番以外にも辰巳プールを有効に利用して楽しんでいるように見えました。うれしい！」



テニス～年に1度の団体戦！ 3種類のダブルスで勝負！

10月25日（日）に行われた、2009年多摩秋季大会は、東京テニス協会が主催する唯一の団体戦です。団体戦自体がテニスの大会では少ないのですが、この大会は、さらに男・女・混合と3種類のダブルスで勝敗を決めるというユニークな形式が特徴です。男女のどちらかが負けても、もう片方と、混合で取り返せば逆転できるので、チームワークが大事になります。

チームを作るのに一苦労ありますが、その分応援も含めてみんなで楽しんで、トーナメントで負けたチーム同士で交流戦や練習もできるようにする、参加者が平等に楽しめるよう工夫しています。

午前中は雨がぱらつき、滑りやすく肌寒いコンディションでしたが、最後まで、賑やかにテニスを楽しむことのできた大会となりました。結果は以下の通りです。

優勝：我流庭球塾

準優勝：チームグリーンD

(編集委員・渡辺)

卓球～会場いっぱい集まった愛好者の向上・進歩・発達を願って

11月11日（水）に東京武道館で、個人リーグ戦（Progress League）、通称Pリーグが300人を超える参加者で行われました。「Progress」には向上・進歩・発達の意味があります。2001年度の新規事業として、クラブ員の一

層の技術・競争力の向上を図ることを目標に始められました。

競技方法は、1ブロックが6～8人のリーグ総当たりです。東京リーグのランクに基づいて、また前回のPリーグの成績を参考にして組合せをしています。ブロック内のレベルを合わせるようにしているので、白熱した試合があちこちのブロックで見られます。

個人戦ではありますが、大変人気があり、毎回定員をはるかに上回る申し込みで、御断りも多くなっています。

来年度からは、東京体育館のメイン・サブアリーナで、できるだけ多くの方が参加できるようにしたいと思っています。将来的には、東京リーグのような、本格的な昇降リーグにしていきたいと思っています。

(東京卓球協・秋山 智子)

都連盟理事会報告

第8回 11/9
18人中 10人参加

経過と予定

- 10/13 第7回理事会
- 10/16 日本共産党都議団定例会前懇談会
- 10/27 都議会文教委員会傍聴
(教育庁関連)
- 10/29 都議会文教委員会傍聴
(生文局関連)
- 10/29 都民生活要求大行動全体交渉日
- 10/31 東京スキー協40周年レセプション
- 11/5 「OURSPO RTS 東京」編集会議
- 11/9 第8回理事会
- 11/10 杉並対策会議
- 11/13 12・8 都議会請願行動実行委員会
- 11/28,29 日本科学者会議東京支部シンポジウム
- 12/3 「OURSPO RTS 東京」編集会議
- 12/5,6 東京自治フォーラム(井上)
- 12/12 全国スポーツ祭典実行委員会
- 12/14 第9回理事会

◆スポーツ活動・組織

各組織報告：北区、杉並区、テニス、スキー、ランニング、卓球、水泳の報告。来年3月の全国連盟総会にむけ組織化の問題について討論しました。また、全国連盟総会にむけて組織現勢の集約、09年度の都連盟各組織の活動集約を行うことを確認しました。

◆スポーツ権運動

(1) 都民生活要求大行動

行動に理事会から6名が出席。都の見解は「都内には公共スポーツ施設が2000あり、充分。各自治体の施設整備はそれぞれの責任で」というものでした。オリンピック招致を契機に、むしろ逆行した認識を示したものであり、実態を認めさせることが必要であることが報告されました。(詳細は3ページの記事参照)

(2) 都議会傍聴

夢の島公園の「BumB」プールが老朽化を原因とする事故(天井からボルトが落下)により使用中止となっている問題について、都議会文教委員会で質問が行われました(質問者は日本共産党の畔上委員)。3月の事故から復旧工事が10月になっても開始されていない原因について、都側は、突発的事故に対する予算がなく、工事設計にも時間がかかったことなどの説明を行いました。畔上委員は、民間の管理(PFI方式)となってサービス向上どころか、むしろ事故に対する対応が遅れたことなどの問題点を指摘しました。

都連盟スポーツカレンダー 2010年1月、2月

卓球

- ・東京後期リーグ 1/27、28 2/7 中野体育館、上板橋体育館、町田総合体育館、東京体育館
- ・王座決定戦 2/7 (日) 東京体育館
- ・ハッピーカルテット 2/8 (月) 東京体育館
- ・ミックスペアマッチ 2/11 (木) 駒沢体育館、駒沢屋内球技場

中野区

- ・中野加盟クラブ交流大会 1/10 (日) 中野体育館
- ・ダブルスリーグ 2/6 (土) 中野体育館

杉並区

- ・杉並スポーツ祭典・ジュニア大会 1/7 (木) 荻窪体育館
- ・杉並後期リーグ 1/10 (日) 上井草スポーツセンター

練馬区

- ・新春3ダブルス大会 1/10 (日) 光ヶ丘体育館
- ・連盟練馬杯 2/14 (日) 中村南体育館

多摩地区

- ・多摩ミックスペアマッチ 1/11 (月) 柴崎体育館
- ・多摩ミックス団体 1/31 (日) 町田市総合体育館

新宿区

- ・2010 新宿新春ペアマッチ卓球大会 1/11 (月・祝) 新宿スポーツセンター
- ・新宿トリオマッチ 2/11 (木・祝) 新宿スポーツセンター

大田区

- ・プログレスリーグ大会 1/20 (水) 大森スポーツセンター

陸上

- ・1月度月例ランニング講習会 1/24 (日) 未定
- ・多摩川ロードレース大会 2/14 (日) 多摩川・国立ロードコース

北区

- ・月例赤羽マラソン 1/24 (日)、2/28 (日) 岩淵堤防土手

多摩地区

- ・月例多摩川ロードレース 1/10 (日) 多摩川・国立ロードコース

水泳

- ・水泳技術講習会 兼認定指導員技術研修会 1/10 (日) 東京体育館第2会議室
- ・東京水泳フェスティバル 2/11 (木・祝) 東京辰巳国際水泳場

スキー

- ・越年スキー 12/29～1/3 秋田八幡平スキー場
- ・Racing camp in かたしな高原 1/9 (土)～11 (月・祝)
- ・山スキー教室 1/16 (土)～17 (日) かぐら周辺
- ・舞子ボルトレーニング 1/30(土)～1/31(日) セントレジャー舞子スノーリゾート
- ・第34東京競技大会 2/6 (土)～7 (日) セントレジャー舞子スノーリゾート

- ・山スキー教室 2/13 (土)～14 (日) 湯の丸高原
- ・石打丸山ボルトレーニング 2/27 (土)～28 (日) 石打丸山スキー場

テニス

- ・新春オープン 2/14,21 (日) 都立有明テニスの森公園テニスコート
- ・関東ブロック ミックスダブルス大会 2/28 (日) 都立有明テニスの森公園テニスコート

練馬区

- ・第1回女子ダブルス団体戦 2/7、14、21、28 (日) 土支田テニスコート

板橋区

- ・新春男子シングルス大会 1/10 (日) 新河岸テニスコート
- ・新春女子シングルス大会 1/23 (土) 新河岸テニスコート
- ・新春ダブルス大会 2/13 (土) 加賀テニスコート
- ・新春男子シングルス大会 2/27 (土) 新河岸テニスコート

中野区

- ・ニューイヤー・テニス交流会 1/10 (日) 哲学堂テニスコート
- ・テニス教室A・Bコース第4期 1/18～3/29 (月) 中野体育館
- ・テニス教室C・Dコース第5期 1/7～3/25(木) 中野体育館
- ・テニス教室E・Fコース第3期 12/3～2010年3/25 (木) 哲学堂テニスコート

バドミントン

- ・第5回関東オープン団体戦 1/23 (土) 荒川スポーツセンター
- ・第64回クラブ対抗リーグ戦 2/7 (日) 駒沢公園屋内球技場

練馬区

- ・第3回練馬冬季大会 1/17 (日) 光ヶ丘体育館

サッカー

- ・第31回春季トーナメント大会 2/28 (日)～

バスケットボール

- ・関東オープン大会 1/11 (月・祝) 桐丘体育館

バレーボール

板橋区

- ・板橋レディースバレーボールオープンリーグ大会 1/17、24 (日) 2/7、28 赤塚体育館
- ・Mix バレーボール オープンリーグ大会 2/14 (日) 赤塚体育館

野球

北区

- ・北区連盟リーグ戦 1/17、31 2/7、21 (日) 中央公園野球場、又は新荒川大橋野球場

板橋区

- ・野球大会 2/14、21、28 (日) 戸田橋野球場

ウォーキング

- ・東久留米七福神めぐり 1/23 (土) 西武池袋線東久留米駅集合
- ・目黒から沼部コース 2/21 (日) JR目黒駅集合

※お詫びと訂正

11月号のスポーツカレンダーにおいて、テニスの項で中野区と練馬区の大会情報をあべこべに載せてしまいました。皆様にお詫びいたします。また、以下のように、訂正させていただきます。

練馬区・第16回ウィークデーマッチ 12/3,10,17 夏の雲テニスコート

中野区・クリスマステニストーナメント 12/6 哲学堂テニスコート

～編集後記～

2010年は関東で全国スポーツ祭典が8年ぶりに開催されます。すでに祭典実行委員会もスタートし、以前に比べても早い取り組みになっています。東京では卓球や野球が開催されます。

今年の全国競技大会卓球大会は年代別と一般の大会に分かれて、兵庫と岩手で開催されました。そのなかで強く印象に残ったのは東京勢の大活躍でした。通常、主管する地元組織のチームが結構上位を占めるのですが、団体戦において今回特に、東京のチーム活躍が目立ちました。しかも、その多くが加盟クラブでした。

日ごろの競技要求に応えた東京卓球協議会の活動の反映だろうと感じました。東京リーグを始め、レディース大会、地域大会も含めて年間80事業をこなしています。愛好者に多くの競技の場を提供してきたことの成果がレベルアップに繋がっていると思います。

2010年は地元東京での開催です。さらにレベルアップした代表団を送りたいと考えています。北川 登